



# こうじレポート No54

\*\*\* 6 月定例議会が閉会\*\*\*

6 月定例議会が 6 月 22 日に閉会し、追加補正予算額 (20,392 千円) 並びに提出議案が承認されました。

## I. 承認された主な事業

1. **一般コミュニティ助成事業**……………財) 自治総合センターコミュニティ助成金を市内 3 地域に対し補助する。  
対象地区：原市 7 区 (什器備品)、小泉 (大人神輿修理)、しらこぼと団地 (書庫・貸出システム)
2. **放射能測定機器整備事業**……………家庭菜園で収穫された農産物、家庭で調理された食事、私立保育所 (14)、私立幼稚園 (21) の給食を新たな測定対象とする為の整備費予算とする。尚、測定器は消費者庁より無料貸与されます。また、貸与の応募 4 回目で実現しました。申し込みは、生活環境課 (Tel 048-775-6940) です。
3. **地域と連携した体力向上支援事業**……………市内の児童生徒の体力向上を図るため、県からの委託により実施する。中学校のバレーボールの育成には上尾メデックス、また、中学校陸上部の強化の為に大東文化大学陸上部と連携して実施する予定です。
4. **工事等請負契約の締結について**……………①中央小学校校舎改築工事 (652,890 千円) ② (仮) 東保険センター建築工事 (444,300 千円) ③上尾駅東口ペDESTレリアンデッキ延伸工事 (215,985 千円)

## II. 一般質問の概要

### ① 積極的高齢社会づくり

Q1…上尾市も都市化の進展・核家族、少子高齢化により地域社会から孤立した問題等が顕在化します。

そこで災害時における、要援護者の避難支援プランの策定状況についてお伺いします。

A……災害時には事務区や自主防災会等の地域コミュニティが要援護者の避難誘導を行うことは重要であり、現在、民生委員のご協力により 65 歳以上単身高齢者、75 歳以上の世帯の個別台帳の作成中です。

Q2…超高齢化社会は新たな「生きがい」、「居場所」を作る。同時に日頃より「高齢者と地域のつながり」に視点を置いたボランティア、見守り活動を拡充すべきであります。市の取り組みについてお伺いします。

A……「地域の絆」の再生を目的に上尾市でも今後、整備を進める予定です。現在、上尾市緊急医療キッド配布事業、団地における孤立死防止の監視装置システム、要援護高齢者の早期発見・支援のネットワークを進めるため「埼玉県の高齢者と地域のつながり再生事業」に取り組んでいる所であります。

### ② 上尾市の医療費について

Q……市の国民健康保険税の過去 4 年間の平均は 50 億円に対して、保険給付費は年 150 億円と高騰しており、医療費の軽減は重要課題であります。市で取り組んでいる保険給付費の削減策についてお伺いします。

A……後発医薬品が新薬よりも安価であることに着目し、ジェネリック医薬品の利用促進をしている。今年の 9 月より国保連合会のシステムを利用し、「ジェネリック医薬品利用差額通知書」を被保険者に発送し、医療費負担の抑制に努める。今後もジェネリック医薬品の普及を図って行きたいと考えている。

発見!

いしがみ  
石神遺跡…上尾市領家石神地内において上尾道路の建設に先立ち発掘調査をしています。

奈良・平安時代、この地域に人々が集落として生活を営んでいた跡を垣間見ることが出来ます。興味のある方は、7 月 31 日までに見に行つてね (\*^\_^\*)